



いもにかい



実施日：令和5年10月24日
対象児：全園児

芋煮会の由来

芋煮会の由来は、1600年代半ば頃の江戸時代遡ります。
山形市の中山町長崎付近に船着場があり、近くには里芋の名産地がありました。
船頭たちが荷物の引き取りの人が来るのを待つ間、退屈しのぎに近くの老松に鍋をかけて、里芋と積み荷の棒ダラなどを煮て食べたことが芋煮のルーツと言われています。



芋煮会は2～5歳児が携わり豚汁作りをしました。畑で育てた里芋も収穫し使いました。2歳児はしめじさき、3歳児は白菜ちぎり、4歳児はこんにゃくちぎり、5歳児は大根とにんじんを包丁で切り、芋煮汁が完成です。秋晴れの中、大きな鍋でつくる過程を見たり、野菜クイズをしたり、楽しい時間を過ごしました。3歳児以上はおにぎり作りにも挑戦し、混ぜ込みご飯や好きな具を選び優しく気持ちを込めて作りました。戸外での芋煮会、園庭には元気な挨拶「いただきます」が響き、沢山の笑顔がみられました。園長小川

